

# ③ インターンシップの現状

インターンシップの実施率や目的、プログラム内容、期間、学生の参加率は？

## 約95%の企業が インターンシップを実施

新卒採用を実施している企業のうち、2019年度にインターンシップを実施(予定含む)した企業は95.0%で、18年度(89.4%)から5.6ポイント増加(グラフ①)と、ほとんどの企業がインターンシップを実施したという結果となった。また、20年度も94.8%が実施ないし実施予定と回答した。

学生の参加率は15年卒から上昇を続け、20年卒では62.2%と19年卒(55.9%)から6.3ポイント増加した(グラフ②)。大学・大学院生別に見ると、大学生の参加率は60.5%、大学院生は75.0%。地

域別に見ると、「中部」が66.0%で最も高かった。

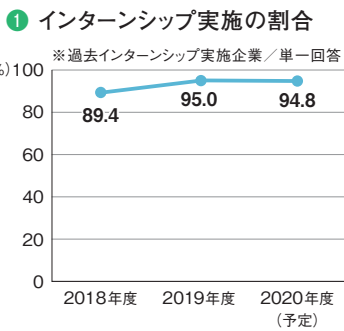
インターンシップに参加した学生の平均参加社数は4.53社(データ③)で、19年卒と同水準だった。具体的な社数としては、「1社」が最も多く24.3%。次に、「6社以上」(20.6%)、「2社」(20.5%)、「3社」(16.7%)が続いた。

## 採用や入社後の活躍促進を 実施目的とする企業が増加

18年度または19年度にインターンシップを実施(予定含む)した企業に実施目的を尋ねたところ、最も多かったのは「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」で87.6%。次に、

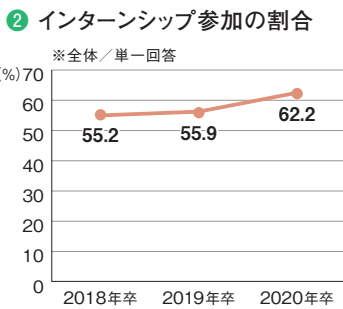
「入社意欲の高い学生を絞り込む」(51.5%)、「採用を意識し学生のスキルを見極める」(43.5%)、「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」(40.9%)が続いた(グラフ④)。ほかの項目に比べて増加幅が大きいのは、「入社意欲の高い学生を絞り込む」(前回調査から4.7ポイント増)、「入社後の活躍や定着を促進する」(27.6%。前回調査から5.5ポイント増)の2つ。また、「採用に直結したものとして実施」(16.0%)も、前回調査から2.0ポイント増加しており、採用や入社後の活躍促進を目的に実施する企業が年々増えている。一方、「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」は13年調査以降、減少を続

**企業** 約95%が実施  
ないし実施予定



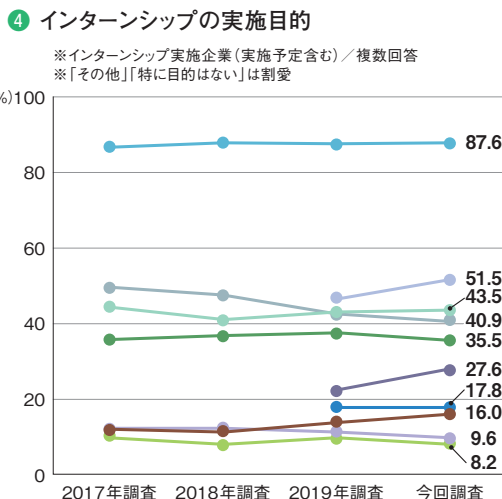
従業員規模別に見ると、どの年度も「300人未満」企業の実施率が最も低い。18、19年度は9割に満たないが、20年度(予定)は91.5%と、19年度(89.9%)から1.6ポイント増加。すべての従業員規模で90%を超えた。

**学生** 参加率は約62%  
属性によって差が



20年卒の参加率を属性別に見ると、理系大学院生・女性(81.4%)、理系大学院生・男性(76.5%)、理系大学生・女性(68.5%)、文系大学生・女性(64.6%)、理系大学生・男性(62.1%)の順に高かった。

**企業** インターンシップの実施目的は、  
「業界・仕事の理解の促進」がトップ



- 仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる
- 入社意欲の高い学生を絞り込む
- 採用を意識し学生のスキルを見極める
- 学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する
- 将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる
- 入社後の活躍や定着を促進する
- 学生の受け入れを通じて、社内人材を育成する
- 採用に直結したものとして実施
- 従来の採用とは異なるタイプを見出す
- 定型業務・プロジェクト等を明示して、学生のスキルを活用して社員に対する活性化を促す

**学生** 平均参加社数は約4社で、19年卒と同水準

③ インターンシップの平均参加社数 ※インターンシップ参加者/実数回答

# 4.53 社

2019年卒 4.69社  
2018年卒 3.30社

参加社数を「1社」と回答した学生の割合は18年卒33.5%、19年卒26.7%、20年卒24.3%と減少の一途をたどっている。2社以上のインターンシップに参加した学生は、19年卒の73.3%から2.4ポイント増加し、75.7%。

「入社意欲の高い学生を絞り込む」(51.5%)、「採用を意識し学生のスキルを見極める」(43.5%)など、採用を意識した目的が上位に入っている。



けている。

従業員規模別に見ると、「300人未満」企業において、「採用を意識し学生のスキルを見極める」が48.7%、「採用に直結したものと実施」が19.2%と、他規模に比べて2~5ポイント高い。「学生の受け入れを通じて、社内人材を育成する」も、他規模では約10~15%だったのに対し、「300人未満」企業においては24.1%と高かった。一方、「5000人以上」企業においては「将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる」が55.4%と、他規模の約30~40%に対して高い。

なお、同じ対象にインターンシップの実施目的に対する成果を尋ねたところ、最

も多かったのが、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」で76.9%。次に、「入社意欲の高い学生を絞り込む」(37.1%)、「採用を意識し学生のスキルを見極める」(30.1%)が続いた。

プログラム内容については、最も多かったのは「通常業務ではなく、別の課題やプロジェクト」で55.3% (グラフ⑤)。次に、「職場や工場の見学」(54.7%)、「社員に同席あるいは同行」(33.3%)、「社員の補助的な業務の一部」(26.1%)が続いた。18年度に比べると、「職場や工場の見学」が2.8ポイント、「社員に同席あるいは同行」が1.6ポイント増加した。

次に、企業には主なプログラムの実施

期間を、学生にはインターンシップの参加期間を尋ね、3年間での変化を見た(グラフ⑥⑦)。企業において、19年度(予定含む)で最も多かったのは「1日」で、61.1%。16年度の39.6%(予定含む)と比較すると21.5ポイント増加している。一方で、3日以上プログラムは減少しており、より短期のインターンシップに取り組む企業が増えていることがわかる。

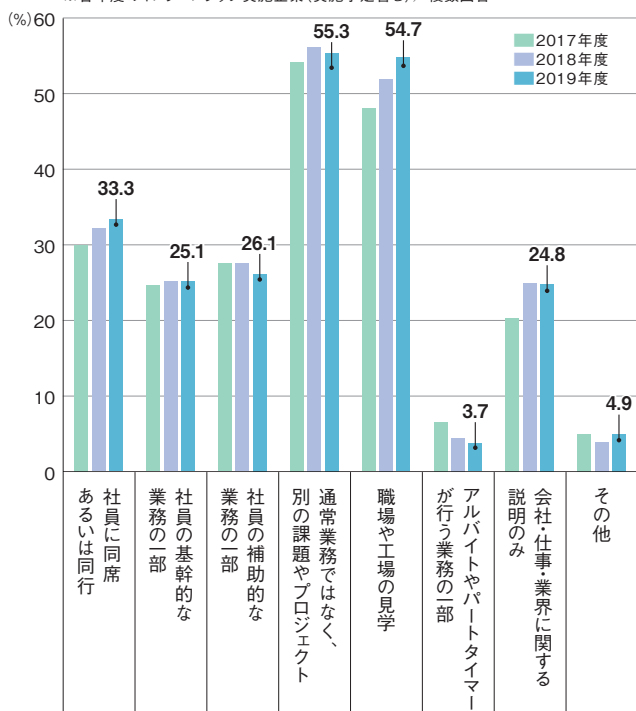
一方、20年卒予定でインターンシップに参加した経験のある学生に対してその期間を尋ねたところ、「1日」を選択した学生の割合が最も高く、70.4%で、17年卒と比べて12.7ポイントの増加。また、学生においても、3日以上プログラムへの参加率は減少している。

企業

プログラム内容は、「職場や工場の見学」、「社員に同席あるいは同行」が増加

⑤ インターンシップのプログラム内容

※各年度のインターンシップ実施企業(実施予定含む)/複数回答



19年度は、インターンシップ実施企業の約半数が、「通常業務ではなく、別の課題やプロジェクト」ないし「職場や工場の見学」を実施。また、「職場や工場の見学」「社員に同席あるいは同行」などが増加した一方で、「社員の補助的な業務の一部」は減少した。

企業

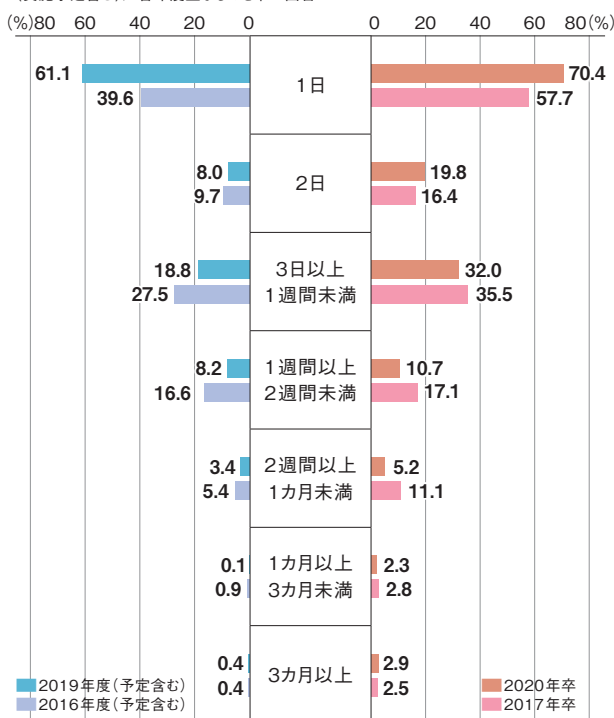
実施・参加ともに1日のプログラムが最多

学生

⑥ インターンシップの実施期間 ⑦ インターンシップの参加期間

※各年度のインターンシップ実施企業(実施予定含む)/各年度主なものに単一回答

※インターンシップ参加者/複数回答



企業の19年度の実施予定期間、20年卒の学生の参加期間とも「1日」が6割以上。次に、企業・学生とも「3日以上1週間未満」が続いた。3日以上プログラムの実施率および参加率は3年前に比べて減少。

### 3 インターンシップの現状

企業・学生にとっての、インターンシップの位置づけは？

#### インターンシップ実施企業の約3社に1社が採用を目的に

P16で採用や入社後の活躍促進を実施目的とする企業の増加について触れたが、インターンシップと採用選考との関係についてより詳しく見てみたい。

インターンシップ実施企業に、20年卒の内定者のインターンシップ参加状況を尋ねたところ(グラフ①)、内定者の中にインターンシップ参加者が「いた」企業は77.5%で、19年卒の73.0%から4.5ポイント増加した。また、インターンシップ実施企業のうち、インターンシップを「そもそも採用を目的として実施」している企業の割合は30.5%で、こちらも、19年卒の

26.8%から3.7ポイント増加。インターンシップを実施した企業の約3社に1社は、採用を目的としたインターンシップを行っていることとなる。

また、採用人数におけるインターンシップ参加者の割合を尋ねたところ、平均23.4%という結果となった(表③)。

#### 参加学生の約7割が参加企業または同業種に入社予定

一方、学生の状況を見ると、インターンシップに参加した経験のある学生のうち、「インターンシップ参加企業に入社する予定」の学生は39.9%(グラフ②)。「インターンシップ参加企業ではないが、同業種の企業に入社する予定」の学生(29.2

%)と合わせると69.1%で、前年より7.1ポイント増加。18年卒の約5割から、2年で約7割にまで増加した。

また、インターンシップの選考に通過しなかった経験のある大学生において、通過しなかった企業の採用選考を「受けなかったことがある」と回答した学生の割合は77.9%(グラフ④)。多くの学生にとって、インターンシップの選考結果が、その企業の採用選考に応募するかどうかの判断材料の一つになっているようだ。

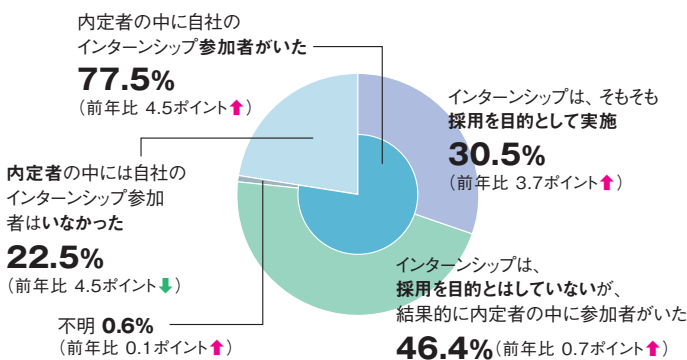
#### 企業のインターンシップにかける力配分が増加

企業にインターンシップと新卒採用にかける力の合計を「100」としたときの力

企業 8割近くの企業で、内定者に自社のインターンシップ参加者が 学生

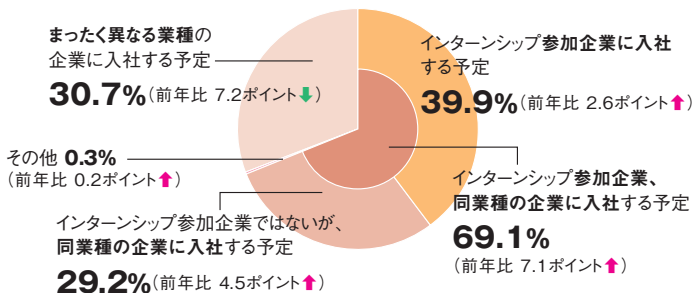
#### ① 内定者のインターンシップ参加状況

※2020年卒/インターンシップ実施企業(実施予定含む)/単一回答



#### ② インターンシップ参加企業への入社予定状況

※2020年卒/インターンシップ参加者・就職確定者/単一回答



内定者の中にインターンシップ参加者が「いた」と回答した企業の割合は、77.5%。18年卒の70.6%と比較しても、年々増加している。

企業 採用人数のおよそ4人に1人がインターンシップ参加者

#### ③ 採用人数における自社インターンシップ参加者の割合

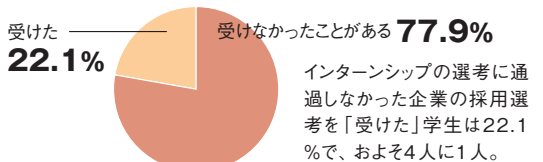
※インターンシップ実施企業/複数回答

全体	23.4%		
従業員規模別	業種別		
300人未満	22.6%	建設業	24.2%
300~999人	22.9%	製造業	24.0%
1000~4999人	22.3%	流通業	20.6%
5000人以上	27.7%	金融業	28.7%
地域別	サービス・情報業	23.3%	
関東	24.7%	従業員規模別に見ると、「5000人以上」企業においては27.7%と、他規模に比べて高かった。また、業種別に見ると、金融業の28.7%が最も高かった。	
近畿	17.6%		
中部	25.9%		
その他地域	22.8%		

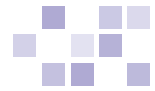
学生 約78%が、インターン選考不通過の企業を「受けなかったことがある」

#### ④ インターンシップの選考に通過しなかった企業の採用選考を受けなかった経験

※大学生の就職志望者でインターンシップの選考に通過しなかった経験のある学生/単一回答



(2020年卒 就職プロセス調査 5月1日時点調査)



配分を尋ねたところ(グラフ⑤)、20年卒採用においては、平均で「インターシップ：新卒採用=28.0：72.0」だったが、21年卒採用の予定においては、「インターシップ：新卒採用=31.4：68.6」という結果に。企業にとってインターシップの重要度が増していることがうかがえる。

また、19年度のインターシップの実施有無別の20年卒採用の充足・未充足状況は(グラフ⑥)、実施企業における充足企業は47.6%、未実施企業においては参考値(※1)ではあるものの42.9%。20年卒の入社予定者への満足度は(グラフ⑦)、実施企業において「満足」と回答した企業が61.6%だったのに対し、未実施企業においては55.0%だった。

次に、学生の理解や満足度について、プログラムの期間による違いを見てみた。インターシップに参加した経験のある学生に対して、参加して良かったと思う点を尋ね、参加期間別に見たところ(グラフ⑧)、「業種について具体的に知ることができた」、「仕事内容を具体的に知ることができた」、「1日のプログラムのみに参加した学生(以下、「1日のみ」とする)も、1週間以上のプログラムのみに参加した学生(以下、「1週間以上のみ」とする)も、6割以上が選択していた。また、「企業・各種団体等の事業内容を具体的に知ることができた」、「企業・各種団体等の職場の雰囲気を知ることができた」は、1日のみの学生、1週間のみ

生とも3割以上が選択していた。

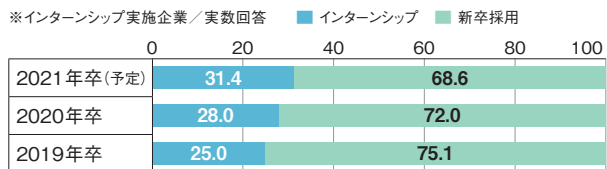
一方、「自分のスキルを見極めることができた」、「自分自身のキャリア観を明らかにすることができた」、「インターシップに参加した企業・各種団体等から内定取得できた」の3項目については、1週間以上のみの学生の2~3割が選択したのに対し、1日のみの学生は1~2割だった。

なお、当研究所の調査(※2)にて、参加したインターシップの良くないと思った点を自由回答で尋ねたところ、「説明会との違いがわからなかった」「インターシップ用の内容という印象が強く、仕事の全体像まではわからなかった」などの回答が見られた。仕事内容を具体的に想起できるプログラムのニーズがうかがえる。

※1インターシップ未実施企業のn数が50未満のため参考値として掲載  
※2「インターシップ調査2019年卒」

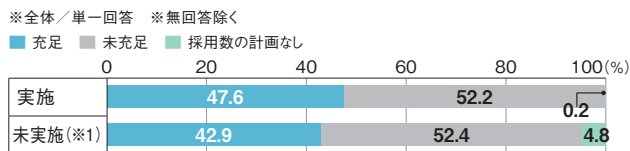
### 企業 インターシップと新卒採用にかける力配分は、「3:7」

#### ⑤ インターシップと新卒採用にかける力配分(合計を100とした場合)



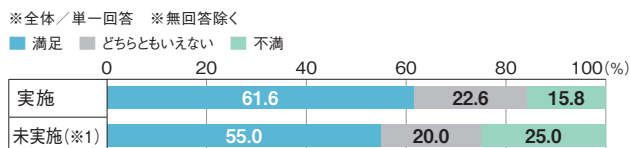
インターシップにかける力配分は、19年卒の「25.0」から徐々に高くなっている。

#### ⑥ インターシップ実施有無別の採用数充足状況



採用数充足企業の割合は、インターシップ実施企業と未実施企業で4.7ポイント差がある。

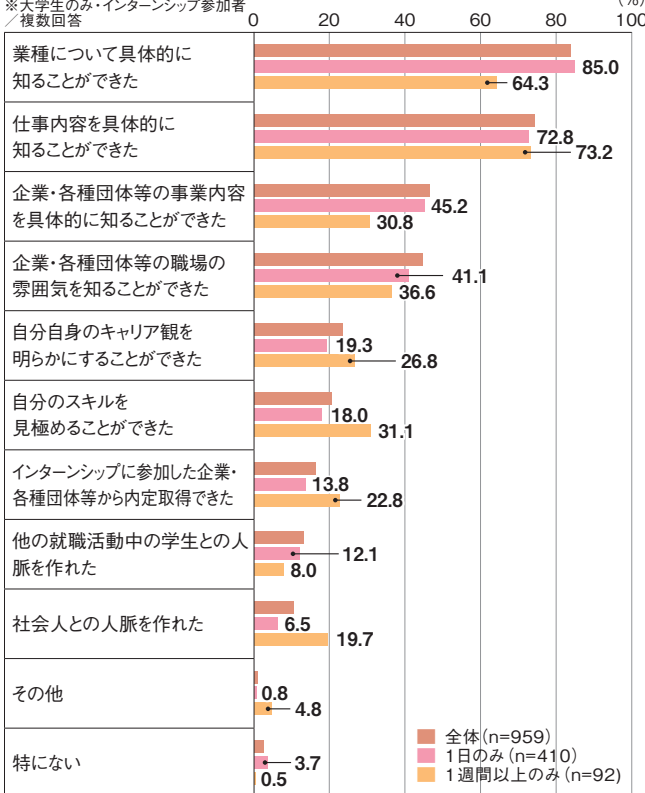
#### ⑦ インターシップ実施有無別の入社予定者への満足度



入社予定者に「満足」と回答した企業の割合は、インターシップ実施企業と未実施企業で6.6ポイント差がある。

### 学生 参加期間を問わず、「業種」「仕事内容」を知ることができたという学生は6割以上

#### ⑧ プログラムの期間別 参加してよかったこと



「業種」「仕事内容」「事業内容」「職場の雰囲気」を知ることができたという評価が上位に並んだ。